



CTF通信

集う・遊ぶ
学ぶ・働く

第118号

2013年1月

発行：CTF松阪

年頭の御挨拶に代えて・・・総選挙で思ったこと

CTF松阪 会長 川口保美

昨年末の総選挙で「日本を取り戻す、教育を取り戻す」とTVで国民に訴えていた政党が大勝して、これからの日本の政治を担っていく。

振り返ると、2009年の総選挙で「日本を変える」のコピーで歴史的勝利をした政党が、長期間政権を維持していた与党から政権を奪取して3年8か月で今回の選挙で大敗した。

政権交代は予測していた。しかしこれほどの大差が付いたことに大変驚いている。

今度の選挙で驚いたことが他にもある。投票が終わって出口で某新聞社の所謂出口調査を受けた。この齢になって初めての出来事ではあるが、出口調査が驚きではない。投票が終わった8時。開票速報が始まった8時。各テレビ局の開票速報オープニングで流した政党別当選者予想数であった。その数値が翌日発表された確定政党別当選者数との誤差が僅差だったので驚いた。選挙当日だけでなく、期日前投票での出口調査も行われて居たと言う。あらゆる技

法を駆使して算出した予測結果だった。

驚きの一つに、59.32%に留まった投票率の低さだ。戦後最低の投票率だそうだ。数日後に行われた韓国の大統領選挙の投票率は75.8%高率であった。

また、今回の選挙では地方政党が多く結成され政党間のあり得ない連合(野合)が行われたことも驚きであった。

今回の我々の選択は、日本を変え得なかった政党に「ノー」を突きつけた。マニフェストに書かれた事は実行されず、書いていない事を実行しようとする国民を騙しうそを言って国民の支持を失った。

特定非営利活動法人CTF松阪は皆様に嘘はつきません。誠実にお約束した事業は実行して行きますので皆様のご支援ご協力をお願い致します。

末筆ながら今年1年皆様のご健康とご多幸を祈念しています。



氏郷の逸話其の3「蒲生風呂」

その時代、手柄をたてた家来に所領を与えたり石扶持を増やしたりして功績を称えた。

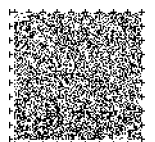
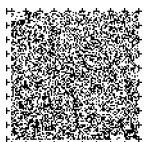
そうして行く内に家臣に与える物が無くなったりする。そこで領土の代わりに茶碗や茶入れを与えた。いわゆる拝領の茶碗や茶入れであった。

氏郷とて例外ではなかった。

そんなある日、氏郷は手柄を立てた家臣に言った。「手柄を立てたお前に褒美をやりたいが、あいにく所領も金品も無い。その労をねぎらいたいで明日、我が家にお前を招いて、酒宴を開きたい。」家臣も、この誘いを快諾した。

ある日、家臣を氏郷は自ら出迎え、こう言った。「よく来てくれた。まずは風呂につかり、日頃の疲れを癒してくれ。」風呂につかる家臣に外から氏郷の声がした。「湯加減はどうだ？ぬるくはないか？」家臣は、「そういえば、少々ぬるい様でございます。」「そうか、しばし待て。薪を足すからな。」氏郷は家臣のため自ら薪を焚いていた。

以降、蒲生家では氏郷自ら沸かした風呂につかる事が、所領も金品に変えられぬ最高の恩賞となった。家臣達はこれを「蒲生風呂」と呼び、これに入れた者は蒲生家家中で羨望の眼差しと、尊敬を集めたのであった。 参宮道



今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



自身のコードを書き換えるウイルスの出現

ところがである。その後パターン・マッチングの検知網を完全にすり抜ける新しいステルス技術を備えたウイルスが出現した。「メタモーフィック型」のウイルスである。

メタモーフィック型のウイルスの特徴は、ポリモーフィック型のようにウイルス本体を暗号化して外観を変えるのではなく、自分自身のコードそのものを書き換えてしまう点にある。このコードの書き換えには主に3つの方法があるとされる。

- (1) プログラムの命令を別の同じ意味の命令に分割する。
- (2) 命令の順番を入れ替える。
- (3) 実行しても意味のない命令をプログラムの中に挿入する。

という手口だ。

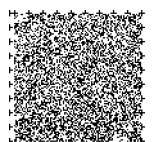
メタモーフィック型のウイルスはこれらの方法を複雑に組み合わせることで無限のパターンを持つウイルスを生み出せる。これなら暗号化することなく全く違う外観のウイルスに見せかけられるわけだ。

例えば2002年2月に発見された「Etap (または Metaphor)」は、自分自身のコードを複数の命令で実現するように変更できる。また、その命令の順番をランダムに入れ替える機能まで搭載している。この場合ウイルスの挙動は同じでもコードは大きく異なるためパターン・マッチングでは検出が難しい。

では、最新のウイルス対策ソフトはこの種のウイルスにどう対処しているのだろうか？



つづく



活動報告

【12月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
(18日)

訪問ITサポート
(6日、21日)



活動予定

【1月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
8日、15日、22日
9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて



続・松阪食べある記

平成22年から平成23年にかけてこのコーナーで連載した「松阪食べある記」、ご好評をいただきましたので、今年はランチのお店を主体にCTF松阪の編集部員が訪れます。

洋食たいよう

年の始めは「初日の出」ということで、市内新町にある洋食たいようを訪れました。

新町通りの洋菓子屋さん1010番地の隣にあるこのお店、テーブル席が4卓とカウンター席が数席のこぢんまりした店内。

どこか懐かしい佇まいのお店で、店内も昭和っぽい雰囲気、昭和生まれの編集部員はしばし懐かしさにひたっていました。

一押しはたいようランチとのことですが、オムライス、カレーライス、ハンバーグステーキ、スパゲッティなどメニューは盛りたくさん。

たいようランチ 850円 (写真上)

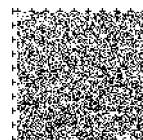
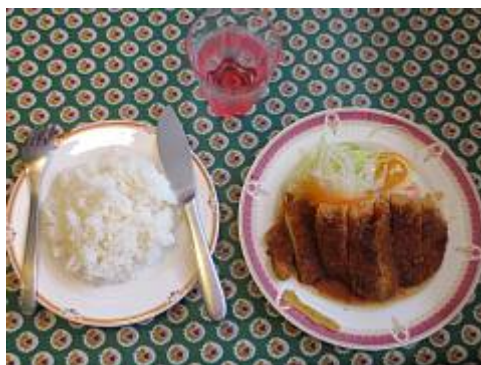
みそカツランチ 850円 (写真下)

所在地：松阪市新町1012

電話：0598-22-3126

営業時間：9:30~18:00

定休日：毎週火曜日



介護ヘルパー1年生 (その3)

H. H

介護施設で働いていると、いろいろな入所者の方々にお会いします。元職ながら学校の先生、鉄道マン、会社経営者、大工など様々なバックグラウンドをお持ちの方々がありますが、皆さん平等に「老い」というものを受け入れています。

私の職場の入居者の人たちは、1日をどのようにして過ごしているのかというと、大まかなパターンとして、寝たきりの人（脳卒中系）は重い麻痺のため身動きが全く取れない状態で、鼻にチューブで栄養剤を注入して食事を摂取していますが、喋ることができません。しかし、目の動きや顔の表情で意思を伝える人もいます。次に車いすで移動が何とか可能で、口から食事できる人は、食事や入浴以外は一日の大半をベッドで過ごします。毎日、睡眠 20 時間という人も。次に、そこそ自分で動ける人はデイサービスへ行き、残された体の機能の維持に努めますが、全体的に見て少数派です。もちろん一般社会に目を向ければ、施設等に入らず第一線でご活躍されている高齢者の方も沢山いらっしゃいますが、それが本人の為にも家族の為にも一番良いことだと思います。

そんな私にも数十年後には、必ず老いがやって来ますが、やはりずっと自分の家に住み続けたいものです。お金も大事ですが、いくつになっても健康の維持に努めることが重要です。高齢になると一度体調を崩すと回復はかなり難しく、私自身も職場において悲しい別れも何度か経験をしました。

私は介護士になってまだ数カ月の身ですが、仕事には慣れてくるものの、入所者との意思疎通の難しさは長年のキャリアを持つ人でも難しいものです。

介護ヘルパーや看護師といっても、所詮は健常者ばかりですから、病気や老衰で障がいを持ってしまった人たちの気持ちなどは全てを理解することはあり得ません。自分がその立場になってみて、初めて分かるようなことばかりです。少し長くなりましたが、最後に今の仕事が長続きできるようにのんびりと焦らず、一步ずつ前に進みたいものです (おわり)

編集後記



明けましておめでとう御座います。巳年が始まりました。

今年も皆さんのお力を借りながら楽しいCTF通信をお届けしたいと思います。

今年も宜しくお願い致します。



CTF 通信第 118 号

2013 年 (平成 25 年) 1 月発行
発行者 IT を活用した障がい者支援 NPO 法人
CTF 松阪
発行責任者 川 口 保 美
住 所 〒515-0081
松阪市本町 2181-1
電 話 0598-21-7268
U R L <http://ctf.dip.jp/>

